

Hamlogの設定方法(参考)

1. JTDXを使う場合は動作しなくなるので、**HAMLOGはCAT接続はしないでください。**
2. JTLinkerを使用してHamlogにデータを飛ばす場合は、RIGとCAT接続しなくても何ら問題ありません。

Turbo HAMLOG/Win Ver5.32c

ファイル(F) 検索(S) オプション(O) 表示(V) ヘルプ(H)

No	Call	Date	Time	His	My	Freq	Mode	Code	G・L	QSL
21076	ES2AJ	21/05/16	07:45U	-09	-17	18.100	FT8	740A	K029	L1
21077	EA3BT	21/05/16	07:48U	-05	-09	18.100	FT8	590A	JN01	L1
21078	DT8A	21/05/16	08:11U	-19	-10	7.076	FT8			L1
21079	8J1RL	21/05/16	17:44L	-10	-09	14.075	FT8		KC90	L1

2021年 6月15日(火) 15:23:41 8M 最終更新:21/05/26

LOG-[A] IC-7851

コールサインを入力しEnterを押して下へ

Call DX Date Time His My QSL

His Name QTH

Remarks1

Remarks2

コールサイン・メモ F2
デュープチェック F3
<DX>コード入力 F4
<市>コード入力 F5
<郡>コード入力 F6
<区>コード入力 F7
<町>コード入力 F8
<村>コード入力 F9
QTH検索メニュー
入力環境設定(K)...
編集と登録(E) >
入力欄へジャンプ >
リグの周波数を設定
リグの周波数再読込
VFOの切替え
PTTの on/off
全項目を[挿入モード]とする
バンド・モード別状況(B)...

入力環境設定 (LOG-[A] IC-7851)

ログ入力設定 | リグ接続設定

IME自動起動

☒ 頭文字
☒ NAME
☒ QTH
☐ Remarks 1
☐ Remarks 2

各入力項目

☐ Date
☒ Time
☒ His RST
☒ My RST
☒ FREQ
☒ MODE
☒ CODE
☐ G・L
☐ QSL
☒ Name
☒ QTH
☒ Remarks 1
☒ Remarks 2

編集・色

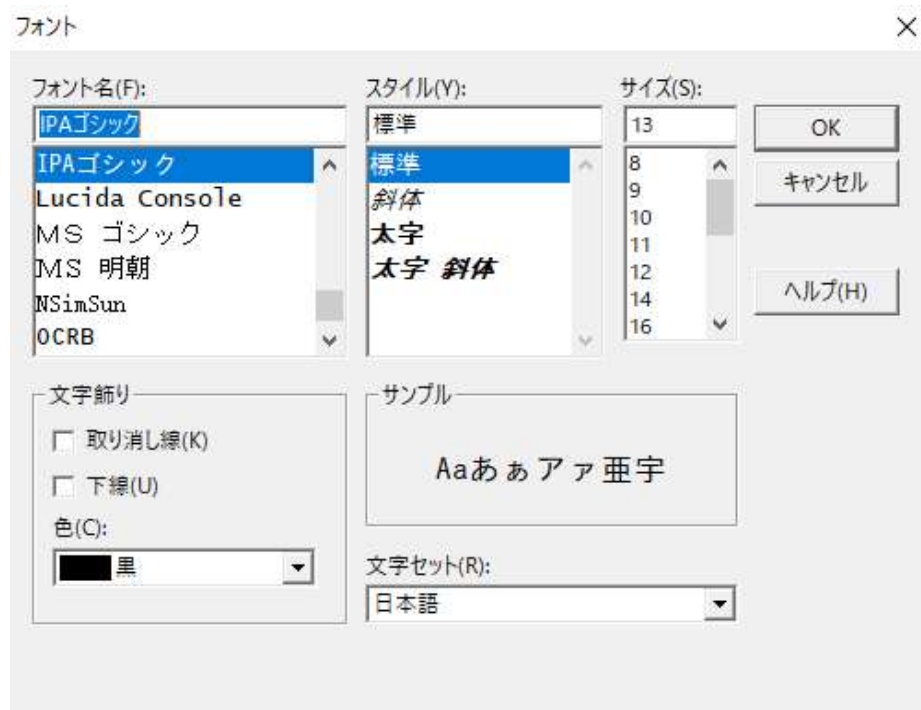
RST欄はS位置

Remarks欄への取込み

☒ 最初 → ☐ ユーザリスト(U) ボタン・色
☐ テキストデータ(V) ウインドウ色
☐ テキストデータ(W) フォント

☒ 移動局は登録済みデータからQTHを取り込まない
☐ 入力ウインドウ右上の時計はUTC ☐ G・Lを取込む

キャンセル 同じ内容で設定 OK



最新のJTLinkerでLoTWにデータを飛ばす場合 全桁を取得にします



環境設定

設定1 設定2 設定3 設定4 設定5 キー割当 フォント 設定6

タイトル(T)

入力ウィンドウ ☒ B ☐ C ☐ D ☐ E ☐ F

☐ 前回の交信内容から氏名をコピーする

☐ 最終データの日付時間をコピーする Wkd/Cfm除外

☒ このRSTを初期値とする => 行間隔指定

☐ システムフォントを使う ☐ 過去のQSOからQTHをコピー

☒ QSL欄の初期値とする => ☐ UTC表示は[01:23Z]形式

☐ コールサイン欄で[Esc]を押すと閉じる ☐ ワッチデータを使用する

☐ 599形式指定

このデータ後の交信局数を表示=>

☐ サフィックス・サーチは(V),(W)も実施

☐ サフィックス・サーチはCALLのみ表示

環境設定

設定1 設定2 設定3 設定4 設定5 キー割当 フォント 設定6

Remarks1

Remarks2

プリフィックス

国内局

1 エリア例外プリフィックス

☐ データ登録時確認あり ☒ 登録したデータのWkd/Cfmチェックあり

☒ 「QSL受領マーク」では未受領データのみ表示 ☐ QSOデータの二重化

☐ 使用QSOデータ名を表示する ☐ QSOデータの共有オープン

☐ 起動中に入力ウィンドウ表示 ☐ DX局でも日本語IMEを起動する

☐ コールサインは横スクロールしない ☐ 年を4桁で表示

QSL受領Insertキー

環境設定

設定1 | 設定2 | **設定3** | 設定4 | 設定5 | キー割当 | フォント | 設定6

東経 度 分 秒

北緯 度 分 秒

☒ 方位と距離を表示する
☒ 方位の矢印を表示する

GL: PM95RQ

☒ コールサイン・メモは取込後クリアする ☐ QSL受領あきらめマーク: ☐

☐ QSL受領あきらめマークはQSL未着で表示しない

☒ 入力時、消滅インディケータは表示しない ☒ [Tab]キーでクリア

☒ コールサイン入力時はスペースキーを押すと"/" ☐ 起動時、QSOデータ空読み

デフォルトのエリアナンバー

× 環境設定

設定1 | 設定2 | 設定3 | **設定4** | 設定5 | キー割当 | フォント | 設定6

ICOM CI-V接続1

☐ リグと接続 COM

ボーレート

JST-245

☐ リグと接続

☐ JPEG画像のヒット

☐ HAMLOG E-Mail QSLのヒット

☐ コール・テキストのヒット

☐ ↑新規作成する

☒ JCC/Gコードでテキスト表示

☐ 1行おきに色を付ける

PCの時刻校正 15:32:52

時 分

リグのモード取得等

☐ A1A, A3E, J3E, F1B, F3E

☒ CW, AM, SSB, FSK, FM

☐ モードは取得しない

F1B, FSK=

☐ モード情報はリグに送らない

☐ 確定後はリグから取得しない

☐ メインウィンドウ上の前回QSOを表示

☒ バンド・モード別状況表示

COM

JTDX使用時
CAT接続しない

環境設定

設定1 | 設定2 | 設定3 | 設定4 | 設定5 | キー割当 | フォント | 設定6

KENWOOD-1 or ICOM

☐ リグと接続 COM 9

ボーレート

19200bps

☒ ICOM CI-V接続2とする

KENWOOD-2

☐ リグと接続 COM 1

ボーレート

☐ 4800bps ☐ ストップビット
☐ 9600bps ☐ 1
☒ 38400bps ☒ 2

FT-847

☐ リグと接続 COM 1

ボーレート

☐ 4800bps ☒ 9600bps
☐ 38400bps

☐ 終了時CAT-OFF

FT-920

☐ リグと接続 COM 1

FT-1000MP

☐ リグと接続 COM 1

COM ☒ OK ☒ キャンセル

JTDX使用時
CAT接続しない

環境設定

設定1 | 設定2 | 設定3 | 設定4 | 設定5 | キー割当 | フォント | 設定6

なし

なし

←キー(K)

コールサイン・メモ
デュープチェック
<DX>コード入力
<市>コード入力
<郡>コード入力
<区>コード入力
<町>コード入力
<村>コード入力
QTH検索メニュー
コピー
全項目貼り付け
張り付け
入力環境設定
QSOデータの登録

QSL受領マーク
 コールサインで検索
 JCC/Gコードで検索
 複合条件検索
 レコード番号で検索
 コールサイン部分文字列
 氏名の部分文字列
 QTHの部分文字列
 備考の部分文字列
 QSLカード印刷
 LOG-[A]表示
 LOG-[B]表示
 LOG-[C]表示
 LOG-[D]表示

←コマンド

デフォルト

設定

☐ Remarks欄の!文字列!表示 ☒ OK ☒ キャンセル

環境設定

設定1 | 設定2 | 設定3 | 設定4 | 設定5 | キー割当 | フォント | 設定6

No	Freq	Mode	Remarks 1・2
1	1.8	CW	ALL JA
2	1.9	SSB	6&DOWN
3	3.5	FM	FIELD
4	3.8	RTTY	全市全郡
5	7	AM	
6	10	PSK31	
7	14	JT65	
8	18	JT9	
9	21	PSK63	
10	24	PSK125	
11	28	T10	

OK キャンセル

環境設定

設定1 | 設定2 | 設定3 | 設定4 | 設定5 | キー割当 | フォント | 設定6

ホームページ名	アドレス (URL)
&HAMLOGホームページ	http://www.hamlog.com/
ユーザー登録のページ (&U)	http://hamlog.no.coocan.jp/
&J-クラスタ	http://qrv.jp/

Call 10 Freq 11 入力欄の表示桁数変更 ↑を初期化

His 3 Mode 4 QTH 28 入力可能な桁数の変更

My 3 Name 12 Remarks 54 OK キャンセル

データ項目の幅変更

His 3 Mode 5 Remarks 54

My 3 Name 12 変換開始

Freq 11 QTH 28 キャンセル

☐ DX局の呼号は、/ を含めてデフォルトでチェックする

JTLinkerでLoTWにデータを飛ばす場合は11桁にする